

## カヤック体験について

### 1 ねらい

カヤック体験を通じ、技術の習得や楽しさだけでなく自然の偉大さ・厳しさを学ぶ。また、パートナーと力を合わせ、協力することの大切さ・素晴らしさを学びながら社会性を養う。

### 2 内容

所要時間	約1時間半～2時間 ＜内訳＞ 大門池広場での全体説明（約20分） 乗船前説明（約10分） 体験（30分～1時間）
場所	大門池広場、大門池
対象年齢	小学4年生以上 ※4歳以上は20歳以上と同乗であれば乗船可
人数	1回40人まで ※2人乗り20艇
実施可能期間	5月～10月

### 3 計画

池での体験活動です。十分な安全確保が必要ですので、事前に以下のことをお願いします。

- ① 下見時の職員との打合せ
- ② 「四日市市少年自然の家 カヤック体験 参加者名簿」（第9号様式）の提出
- ③ 陸上監視協力者の配置

#### 4 団体様にて準備していただくもの

服装	<p>(1) 濡れてもよい格好（水着の上からジャージや夏用体操服着用等）</p> <p>(2) 濡れてもよい靴          ※体育館シューズ、上履き等。必ずかかとがあるもの。          ※ビーチサンダル、かかとの無いクロックス等は不可。乗船をお断りする場合があります。</p> <p>(3) 帽子（しっかり頭に合うもの。ゴムがついたもの。風で飛ばされることがある）</p> <p>(4) カッパ（上下セパレートのもの。寒い場合、ライフジャケットの中に着ることで保温されます。ポンチョタイプ不可）</p> <p>(5) 眼鏡バンド（輪ゴムをつなげたもの等でも可）          ※眼鏡が池に落ちた場合、捜索は困難となります。</p>
その他	<p>(1) 水筒 ※必ず事前に水分補給をしてください。</p> <p>(2) タオル</p> <p>(3) その他必要な人は日焼け止めなど熱中症、日射病対策をお願いします。</p>

#### 5 指導体制について

カヤック体験の指導は、団体責任者の実施の決定にもとづき職員 3 名（陸上監視者 1 名、水上監視者 2 名）及び団体の陸上監視協力者 1 名の 4 名の体制で行います。

陸上監視者	プログラム責任者としてカヤック体験の指導を行う。
水上監視者	救助艇乗船者として利用者とともに艇に乗り池に出て、監視・救助を行う。
陸上監視協力者	団体様からの協力者としてカヤック体験中、陸上から監視や安全確保のアドバイスをさせていただきます。

#### 6 当日の活動の流れ

- (1) 体験開始 1 時間前に団体責任者と自然の家の担当プログラム責任者とで事務所にて気象状況等について打ち合わせを行いますので、団体責任者様は事務所にお越しください。  
 ※団体責任者：団体を引率する責任者（体験実施の可否を決定できる方）
- (2) 参加者は風呂場等にて濡れてもよい服に着替えてください。そして、着替えを置いて大門池広場に集まってください

- (3) プログラム責任者より準備体操・パドル操作方法・ライフジャケット着用方法等の説明を受けます。
- (4) ライフジャケットを着用し、大門池前にて危険箇所、注意等の説明を受けます。
- (5) カヤックに乗船します。(体験前に参加者が〇号艇に乗るか団体で事前に確認してください) ※出艇準備が出来た艇から順番に艇番号を案内します。
- (6) 大門池でカヤック体験をします。(30分～1時間)
- (7) 終了の合図があり着岸後、パドルを指定の場所に戻すとともに、ライフジャケットのチャックとベルトを締めて物干し台に戻します。
- (8) 大門池広場で振り返りを行います。
- (9) 引率者様は、参加者に指示をさせていただき着替えをお願いします。

<タイムテーブル例>

40人を超える団体等で参加者が複数グループに分かれる場合、以下のタイムテーブルを参考にして下さい。

時間	Aグループの行動	Bグループの行動
1時間前	職員との打ち合わせ	
0:00	全体説明(約20分)	
0:20	体操(約5分)	別プログラム 入替り時間前に体操(約5分)
0:25	乗船前説明(約10分)	
0:35	体験(約30分)	
1:05	着替え(約15分)	入替り時間(10分)
1:20	別プログラム	乗船前説明(約10分)
1:30		体験(約30分)
2:00		着替え(約15分)

※Bグループ目以降は、乗船前説明の前に団体で準備運動(屈伸、伸脚、手首足首、肩まわしなど)を行っておいて下さい。

## 7 注意事項

- (1) 以下の場合は事前にお申し出ください。
  - ① 参加人数 40 人を超え複数回実施希望の場合  
打ち合せにて実施可能かどうかを判断します。一度に最大40人までしか使用できないため、40人を超える団体様は別プログラムが必要となります。
  - ② 特別な支援が必要な方がいる場合  
打ち合せにて乗船可能かどうかを判断します。落水・転覆した際に自力で泳げることが乗船条件となります。第9号様式「四日市市少年自然の家 カヤック体験 参加者名簿」に特別な 支援が必要な方は必ずチェックを入れてください。
  - ③ 心臓病、てんかん等、持病がある方がいる場合  
打ち合わせにて乗船可能かどうか判断します。
- (2) 妊娠中の方、体調が優れない方は乗船をお控え下さい。
- (3) 自然の家スタッフの指示には必ず従ってください。
- (4) 陸上監視協力者は乗船者が危険行為を行わないよう、また危険箇所に近づかないよう監視をお願いします。
- (5) 陸上監視協力者以外の引率の方も安全に活動できるよう十分な配慮をお願いします。
- (7) 体調不良の場合はすぐに申し出るようにしてください。
- (8) 体験中は、急な体調変化や持病の再発等がおこることもあります。事前に団体で必ずメディカルチェックを行ってください。また万一のために団体で健康調査票を持参していただき、参加者の健康状態を把握していただくようご協力をお願いします。

## 8 中止・短縮の基準

- (1) 警報発令時は、活動を中止します。
- (2) 注意報発令時は、下記の実施判断基準をもとに、活動の変更・短縮・中止を協議し決定します。
  - ① 気象条件  
警報・注意報発令時による活動中止は、午前午後ともに開始 1 時間前に決定する。気象条件が活動に支障をきたすと考えられる場合は、所長および陸上監視者（プログラム責任者）は、団体責任者、団体指導者に対し、協議（勧告）を行います。最終判断は団体責任者が行います。なお、気象情報は以下のWEBサイトより情報収集を行います。（津气象台やウェザーニュース等）

② 活動判断基準（活動前、活動中）

気象警報・注意報発表における活動基準（当日の水沢地区の天気予報）

	気象状況	勧告内容
警報		・活動の中止
大雨注意報	・降雨が確認される 1 時間に 20mm以上 1 時間に 20mm未満	・活動の中止 ・活動の短縮・変更・中止
	・降雨が確認されない	・安全が確認できる場合にかぎり実施可 （但し、今後の気象情報に注意し実施すること） ・活動の短縮
強風注意報	・最大風速 8m/ s 以上	・活動の中止
	・最大風速 5～8m/ s 未満	・活動の短縮・変更
雷注意報 注1)	・レーダーナウキャスト雷活動度 2 ・活動エリア上空で稲光や雷鳴が確認される	・活動中止
	・レーダーナウキャスト雷活動度 1 以下	・安全が確認できる場合に限り実施可 （但し、今後の気象情報に注意し実施すること） ・活動の短縮・変更・中止
濃霧注意報	・対岸の堤防が目視できない	・活動の中止
	・対岸の堤防が目視できる	・安全が確認できる場合に限り実施可 （但し、今後の気象情報に注意し実施すること）
その他 注2)	・気温または水温が 20 度以下～15 度以上の場合	・安全が確認できる場合にかぎり実施可 （但し、今後の気象情報に注意し実施すること） ・活動の短縮
	・気温または水温が 15 度未満の場合	・活動中止

注1) 雷の状態は、気象庁WEBサイト「レーダーナウキャスト（雷）」の現状及び予測データによる判定。

注2) 風の影響により体感温度が 15 未満となる場合も協議（勧告）の対象とする。

③ その他の状況による活動中止判断基準

- (1) 局所的に短時間で気象が悪化すると予想される時
- (2) 台風の接近、または通過後の気象条件が不良の時
- (3) 竜巻に関する情報は発令されている時
- (4) 記録的短時間大雨情報が発表された時
- (5) 東海地震に関する情報が発表されている、または発生が予想される時
- (6) 団体より中止の申し入れがあった時
- (7) その他、活動に不適切または不可能と責任者が判断した時